

つなぐ

誼訪清二さん講演会 ～災害と向き合う～

9月10日金曜日、兵庫県立大学大学院の特任教授である誼訪清二さんの講演会がありました。誼訪さんは全国で初めて「環境防災科」が開設された兵庫県立舞子高校の初代科長を務められた方です。感染症予防のため、神戸からオンラインでお話しいただきました。

講演では、阪神淡路大震災、東日本大震災をはじめ四川大地震、インド洋大津波等での高校生のボランティアや現地の方との交流などのお話がありました。高校生でもできることはたくさんあることが分かったと思います。また、震災を「語り継ぐ」ことがとても大切であり、直接的な被災をしていなくても私たちは「語り」を「継ぐ」ことはできるともおっしゃっていました。誰かの「語り」を別の人に「継ぐ」ことは誰でもできます。今回の講演を受けて考えたこと、感じたことなどを家族や友達に話してみるといいですね。



↑ 誼訪さんの著書です。他も図書室にあります。ぜひ!

<生徒のコメント> (防災学習振り返りシートより一部抜粋)

●学んだこと・気づいたこと・感じたこと

- ・ 子どもだからとか大人だからとかでなく、1人の人として災害で被災してしまった人に何かできることをしたいと思った。
- ・ 災害によって人が亡くなったり建物が壊れたりするのは怖いし悲しいと思うけど、その後の復興などによって人のつながりができることはすごいと思った。
- ・ 私自身も体験したけど、地域の人たちで助け合うことはとても大切だと思った。
- ・ 一人でも多くの命を救うために次の世代へ語り継ぎ、多くの災害を「知らない」のではなく「知らなければならぬ」と感じた。

●講演を受けて、今後災害が起きたとき・災害に備えて自分自身ができること

- ・ 過去に被災した人の体験談を読んだり聴いたりして、過去に起きたことを忘れないようにする。
- ・ 命を一番に守りつつ、誰かの心の支えでいられる人でありたい。
- ・ もし違う町で災害が起きたら、ボランティアとして町に行って、災害に遭った人を少しでも安心させてあげられるようにしたい。
- ・ 誰かの心に寄り添う。人とのつながりを感じることをしたい。
- ・ 他人事にせず、いつ自分に起こるかかわからないと考えて生活する。
- ・ もっと「生きる」ことを深く考えて、自分自身を守りつつ、周りの人を助けられるようになりたい。
- ・ 今も被災している方がいて、生活が厳しくてつらいと思う。その人たちのために何ができて、何をすればいいかを考える。

宣伝① 避難訓練、いっしょに企画しませんか？

わいわい



がやがや

11月12日金曜日に避難訓練が行われます。6月の避難訓練は授業中・地震の想定で行われました。しかし、実際は地震は1回で収まるとは限らないし、停電等が起こるかもしれません。様々な想定をすることは「備え」そのものです。6月の訓練後のアンケートでは、生徒の皆さんから想定したほうがよいものの意見をもらいました。それをもとに11月の訓練の内容を一緒に考えてみませんか？

11月の訓練の内容を企画するといっても、あまり堅苦しくやるつもりはありません。雑談的に、訓練についておしゃべりするイメージです。10月中に行う予定です。詳しくは**説明会**で！

宣伝② 映画のボランティアエキストラ大募集！

涌高
ふれあい隊
防災チーム

山本透監督の新作映画『有り、触れた、未来』のエキストラを募集します！震災から10年経った今だからこそ、心の復興をテーマに「青い鯉のぼりプロジェクト」の方々とタッグを組んで、未来の子どもたちに「生きる力」を届けたいと、取り組みだした企画だそうです。原案は、元石巻西高校校長の齋藤幸男さんの著書『生かされて生きる-震災を語り継ぐ』（河北選書）です。撮影は10月に宮城県内で行われます。こちら詳しくは**説明会**で！



↑公式サイト



↑キャストコメント
掲載記事

説明会(避難訓練・エキストラについて) 9/29(水) 15:45～ LL 教室
参加するか迷っている人も気軽にどうぞ！気になることがあれば担当（津守）まで。

避難ゲームの紹介

あなたの選択が、未来を変える！

数十年に一度と言われる大規模台風接近から通過までの24時間。あなたは何を考え、どんな行動をとるでしょうか。選択次第で結末が変わるマルチエンディングストーリーのゲームです。あなたは無事、この難局を乗りきれませんか。是非、やってみてください。



↑あなたの選択が、未来を変える(風水害24movie)

